

## 【作り方説明書】

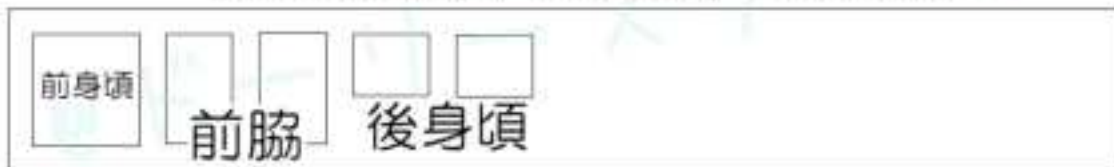
ドレス上の型紙、ドレス下の型紙  
※旧ウェディングドレス本体の型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・58cm ソフビ M</li> <li>・58cm ソフビ L 寄</li> </ul> <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.25mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや薄手～普通生地</li> <li>・薄手の生地(裏地用)</li> <li>・コンシールファスナー</li> </ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <p>ドレス上、ドレス下の両方の型紙を使用して作製する方法で記載しています。</p>
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①②後スカート 2枚→左右反転して2枚</p> <p>③前スカート 1枚→そのまま1枚</p> <p>④前身頃 表布 1枚→ //</p> <p>⑤前身頃 裏布 1枚→ //</p> <p>⑥⑦前脇 表布 2枚→左右反転して2枚</p> <p>⑧⑨前脇 裏布 2枚→ //</p> <p>⑩⑪後身頃 表布 2枚→ //</p> <p>⑫⑬後身頃 裏布 2枚→ //</p> <p>合計：13枚 のパーツで構成</p>	
<p>■必要な布量参考数値</p> <p style="text-align: center;"><b>【ドレス上の型紙 58cmM】</b></p> <p style="text-align: center;">表布、裏布共通</p> <p style="text-align: center;">横90cm, 110cm, 140cm</p> <p>縦11cm</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前身頃</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前脇</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">後身頃</div> </div>	

### 【ドレス上 58cmL】

表布、裏布共通  
横90cm, 110cm, 140cm

縦13cm



### 【ドレス下 ミディアム 58cm】

横90cm, 110cm

縦68cm



【ドレス下ミディアム 58cm】  
横140cm

縦35cm



【ドレス下ロング 58cm】  
横110cm,140cm(90cm幅不可)

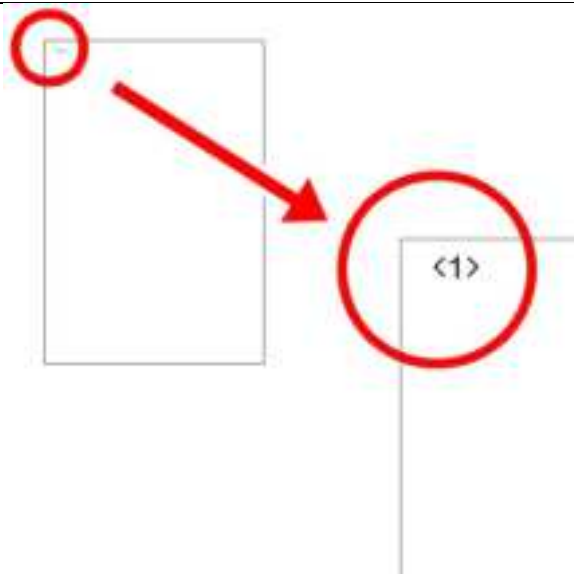
縦107cm



## 01. 型紙を貼り合わせる

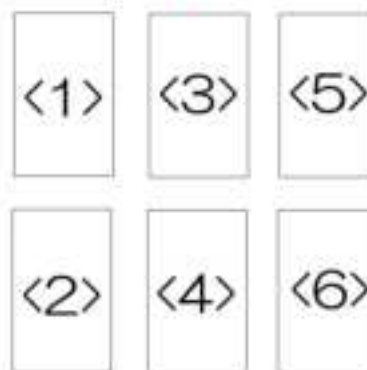
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載  
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。  
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。  
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕

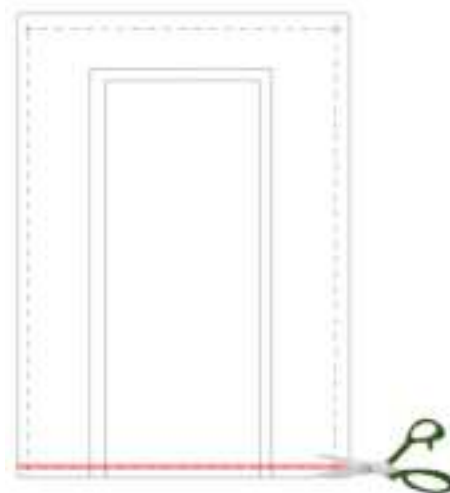


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

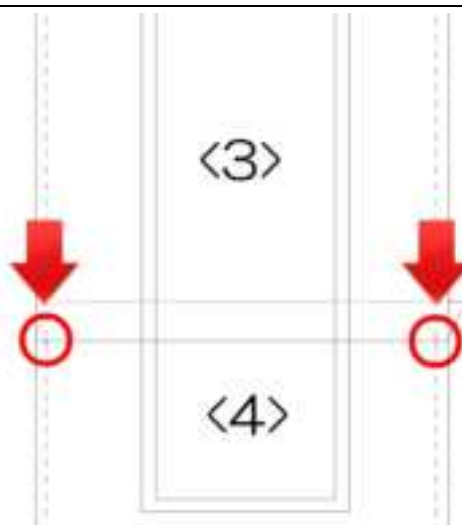
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

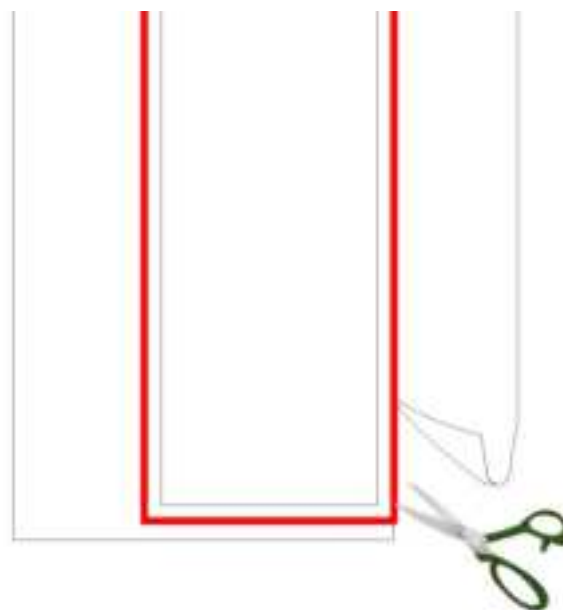


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



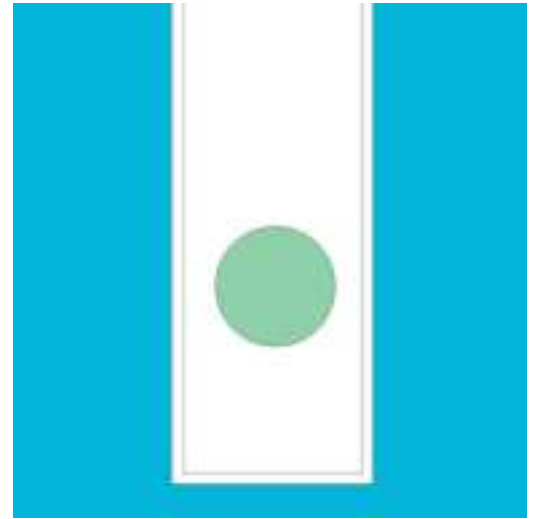
02. 型紙を切り取る。

02~07の右図は全型紙共通で使用  
しています。



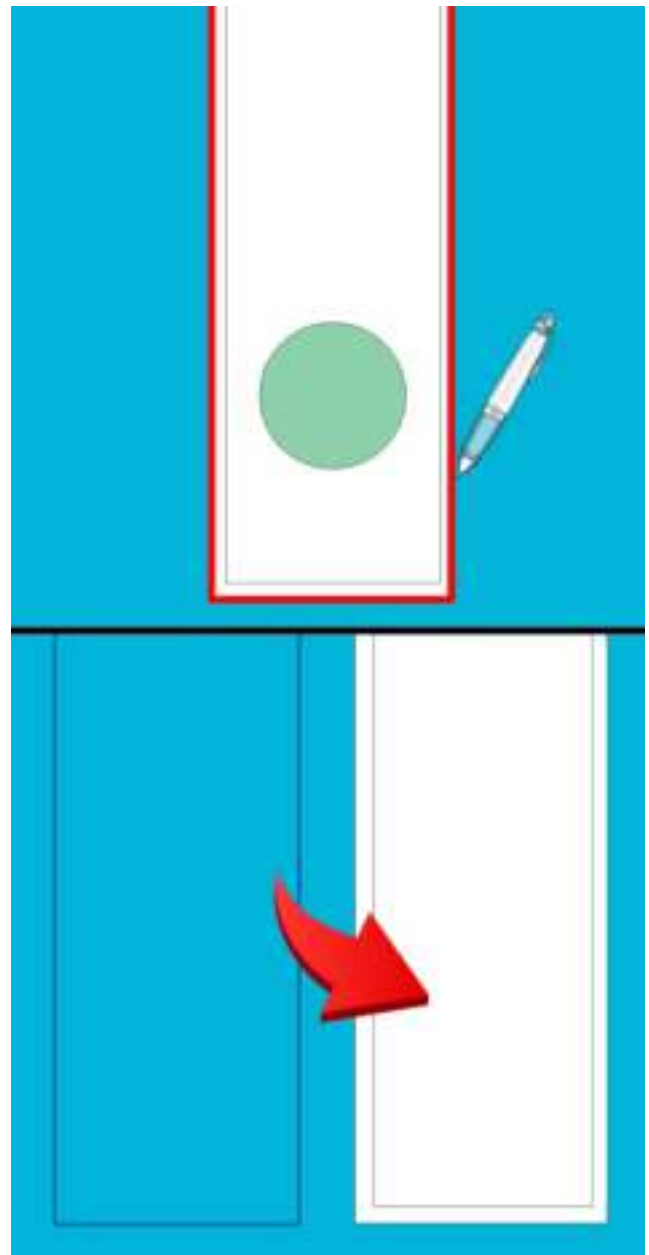
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

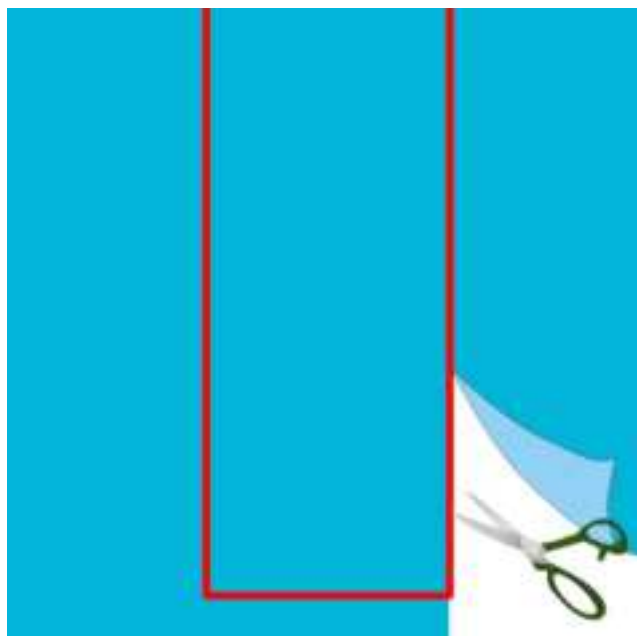


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔 ※オススメのチャコペン  
・カリスマシャープペンシル(使用中)  
・クロバー 水性チャコペン 〕

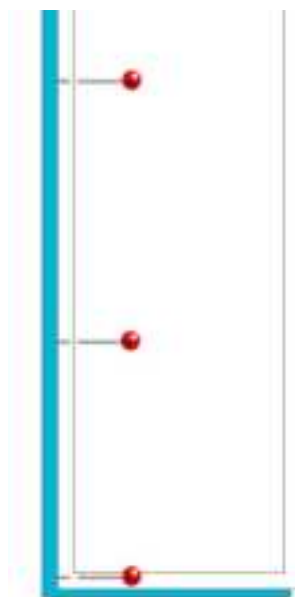


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれない様にするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

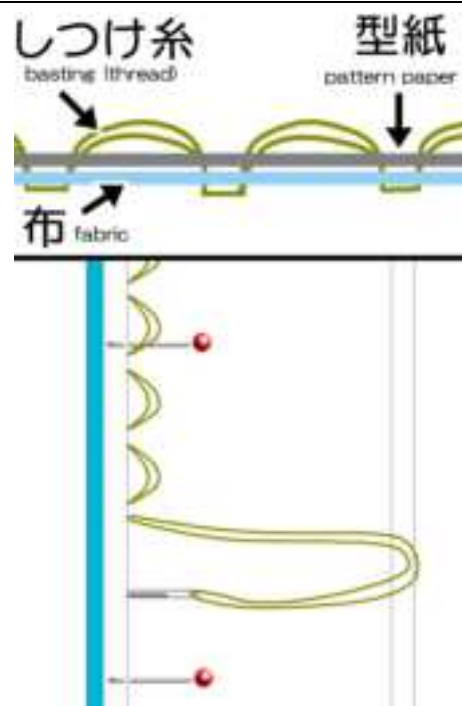
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

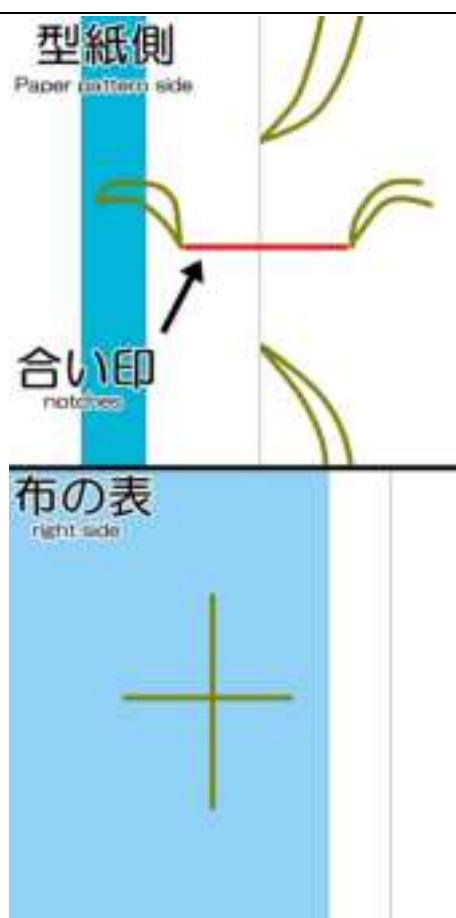
〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕







- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。  
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。

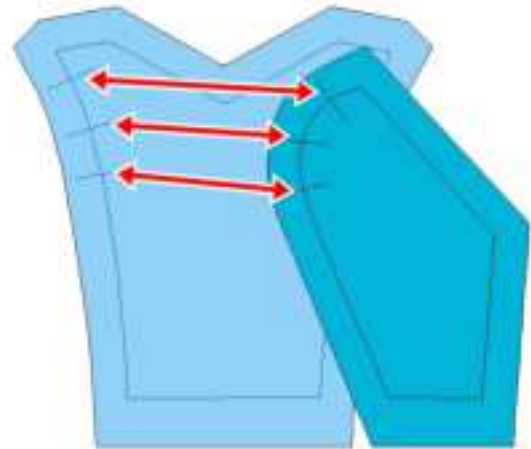


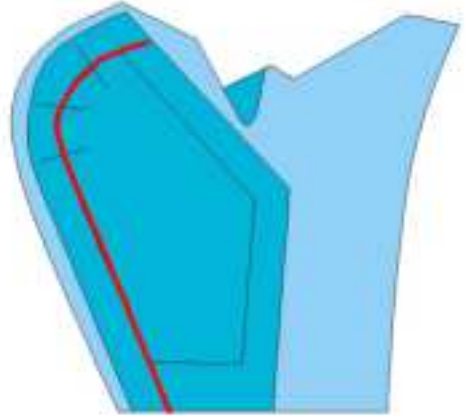
08. 前身頃のカーブに切り込みを入れる。



09. 前身頃と脇の W、三 を目印に表が内側になるように、前身頃と、前脇を合わせて縫う。

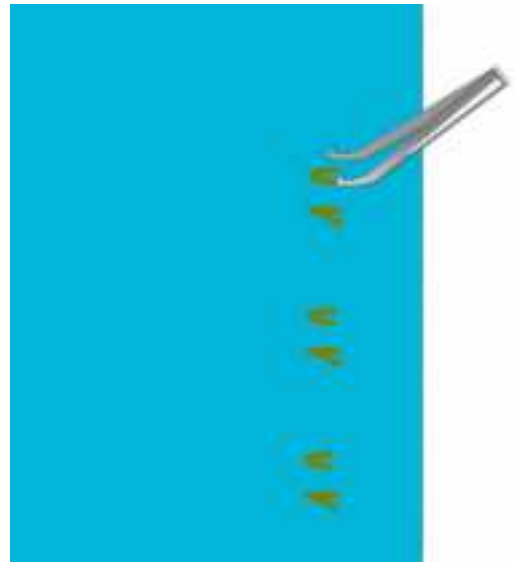
〔 反対側も同じように縫う。〕





10. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



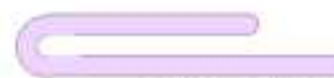
11. 縫い代を前身頃に倒して、アイロンをかける。



## 横から見た時

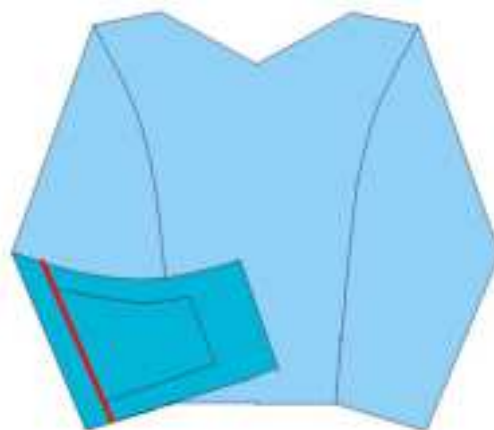
Side view

前脇  
front side



前身頃  
front bodice

12. 表が内側になるように、前脇と後を合わせて縫う。  
〔 反対側も同じように縫う。〕



13. 縫い代を開いてアイロンをかける。



14. 裏布も同じように進める。

15. 表が内側になるように、表布と裏布を合わせて縫う。

〔 矢印の箇所は、メリハリが出る様に、必ず出来上がり線通りの角で縫う。角ではなくカーブになってしまうと、出来上がりにシャープさが無くなる為注意。〕



16. 余分な縫い代をカットする。

〔 出来上がり線から 2mm くらい外側。〕



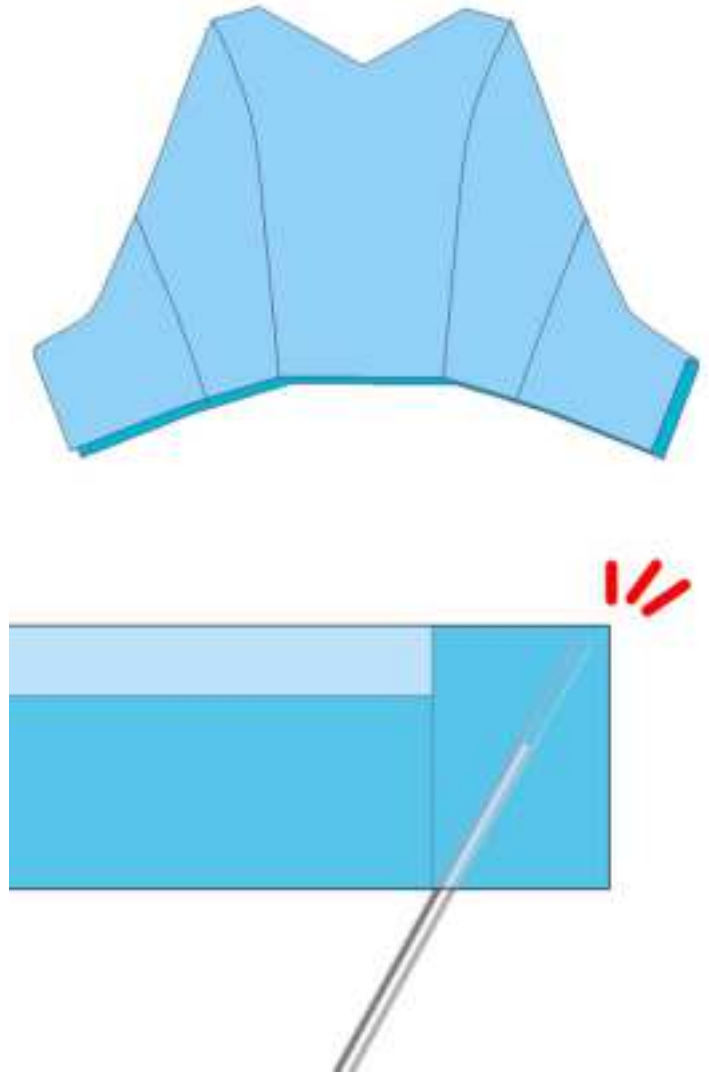
17. カーブに切り込みを入れる。



18. ひっくり返して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

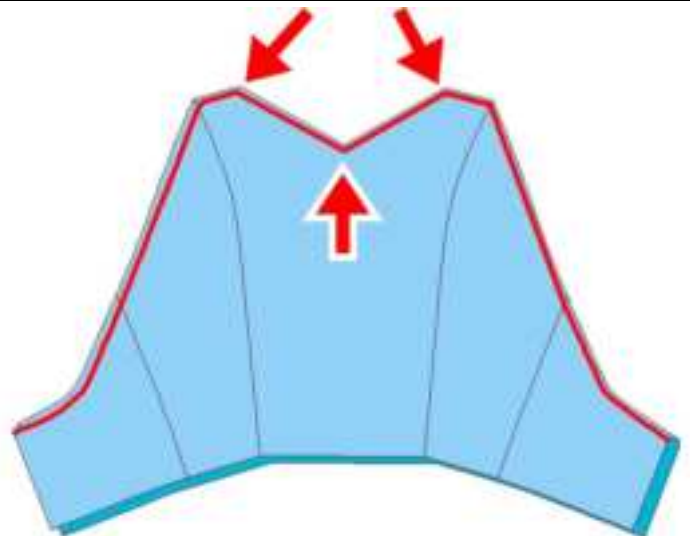
〔 布団等の太い針を使う。  
ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”などでも代用出来る。  
あくまでも優しく内側から押して角を出す。  
強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると貫通し布が傷む可能性も。〕



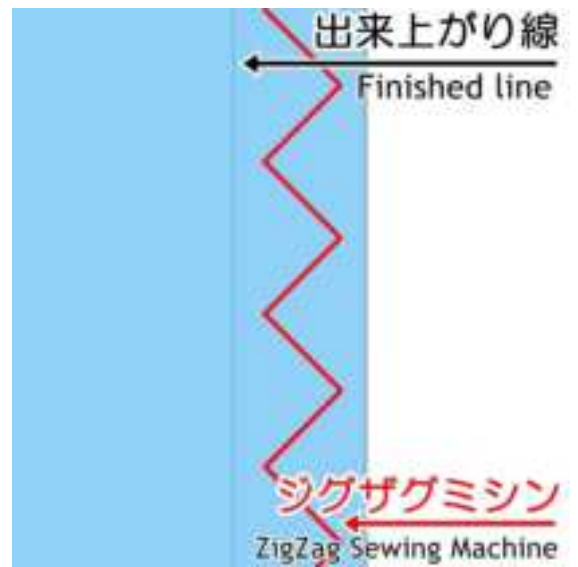
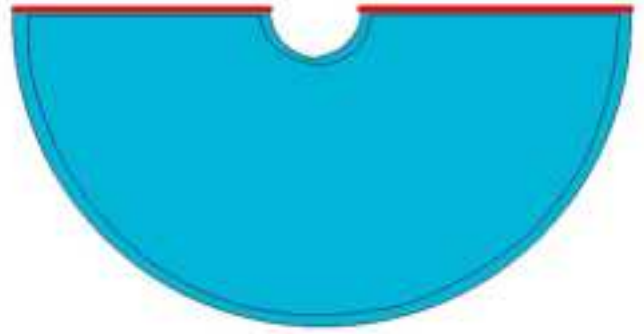


19. 縁を縫う。

〔 矢印の箇所は、縫い目がカーブにならない様にしっかりと角になる様に縫い進める。〕

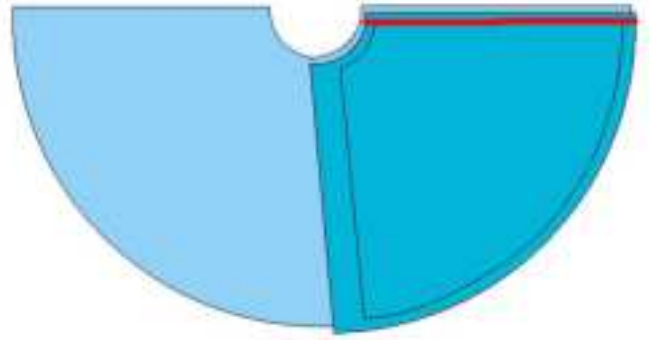


20. 前後スカート端にロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。





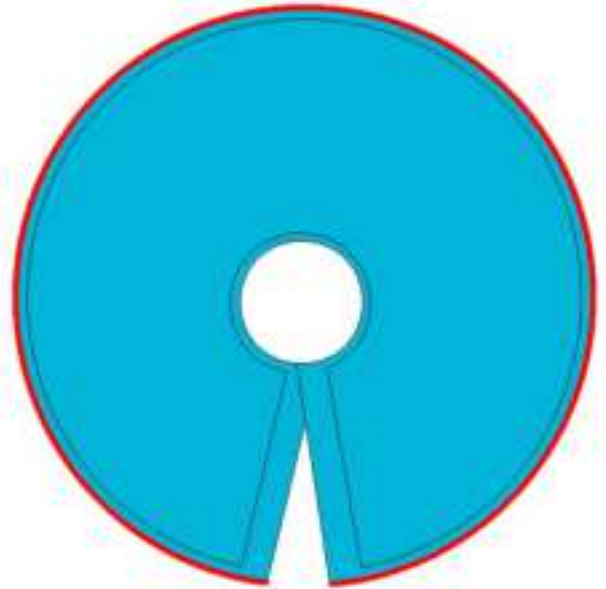
21. 表が内側になるように、  
前後スカートを合わせて縫う。  
〔 反対側も同じように縫う。〕



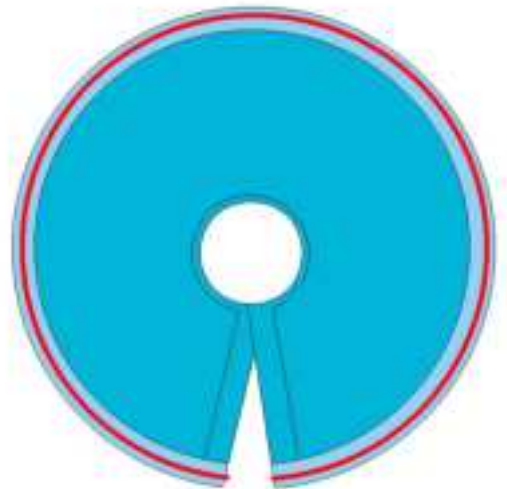
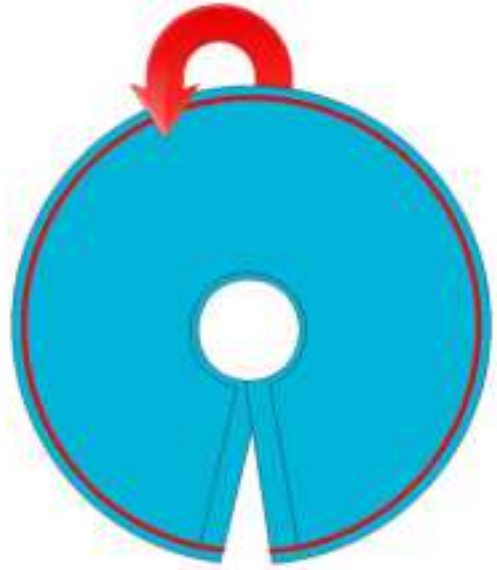
22. 縫い代を開いて、アイロンをかける。



23. スカート裾にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



24. 出来上がり線で折って縫う。



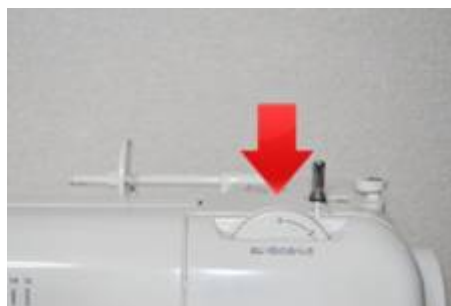
## 25. スカートのウエストの縫い代に”ギャザーを寄せるミシン”を縫う。

①ミシンの上糸の糸調節を“弱”にする。

[ダイヤルの場合は0にする。]



②縫い目の長さを4mm程度にする。



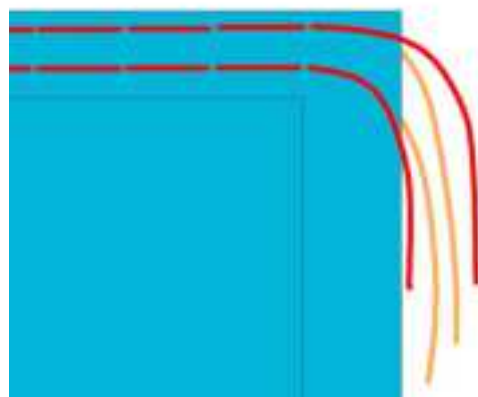
③縫い始めの糸は上下共に10cm以上出しておく。

[ 上糸と下糸の色を変えておくと、  
後でわかりやすい。]



④布の端から2mm程度のところを縫い、

[ 縫い終わりの糸も10cm以上残して切る。  
2本目は布端から4mm程度のところを縫う。]



⑤上糸の調節(①)と、縫い目の長さ(②)を元に戻す。

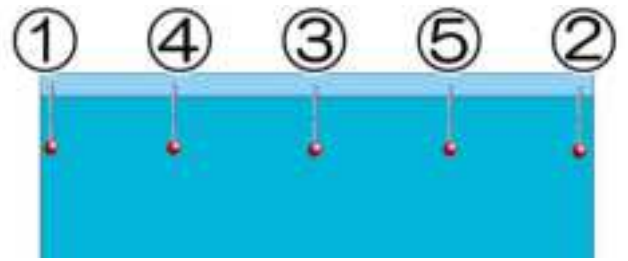
26. 表が内側になるように、  
身頃とスカートに合わせて縫う。

- CF と A を目印に、均等にギャザーを寄せる  
CF：センターフロント。前の中心という意味。  
待ち針は  
①②布の両端からとめる。  
③次に中央  
④⑤最後にその間を埋める様にとめていく。

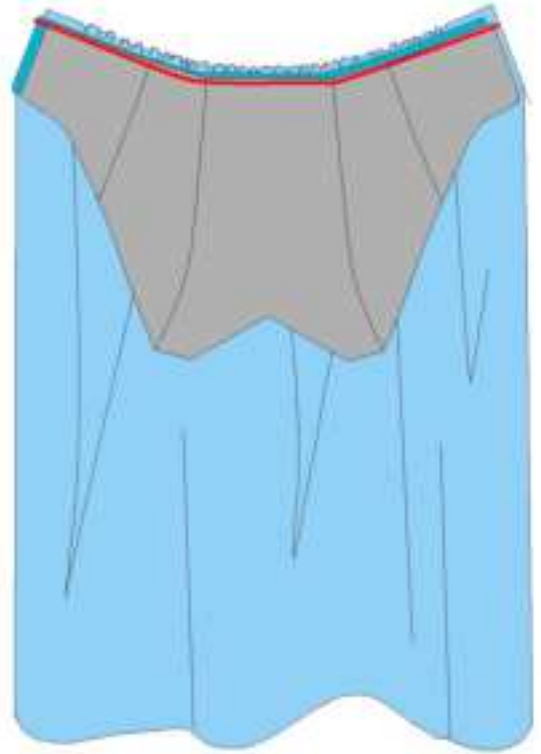


横から見た時  
side view

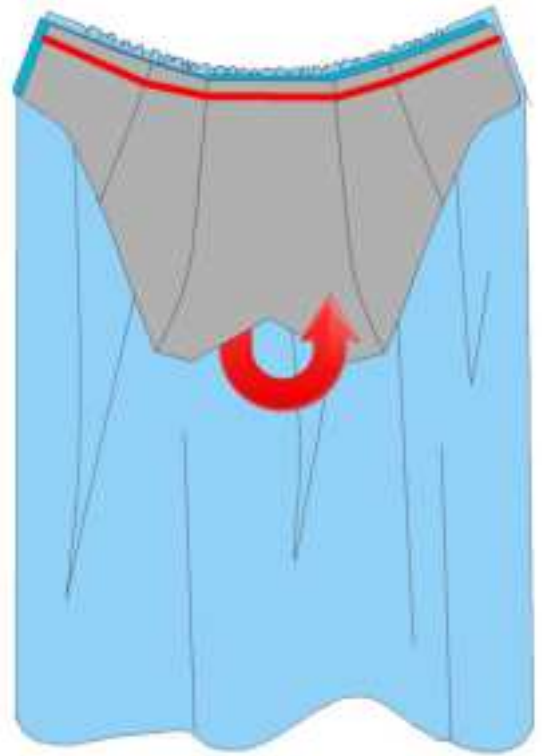




27. 縫い代にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



28. 身頃を上へ倒す。



29. 身頃の縁を縫う。  
〔縫い代は身頃側に倒す。〕



横から見た時  
side view

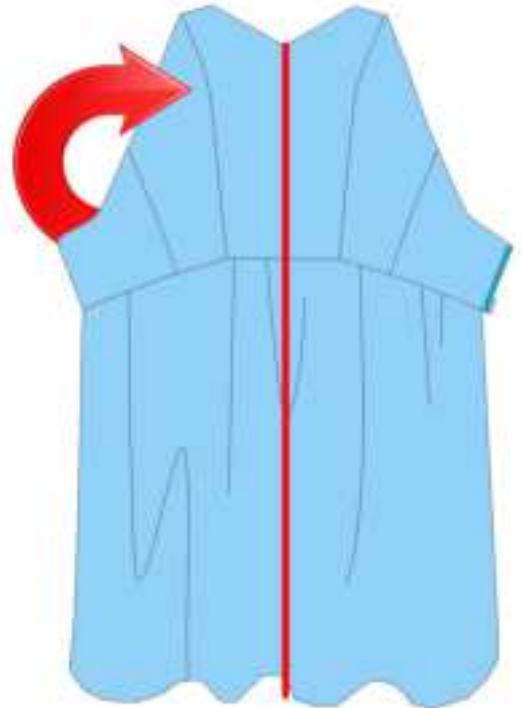
身頃  
bodice

スカート  
skirt

30. 縫い代に、  
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



31. 表が内側になる様に、後中心を合わせる。







---

32. 身頃から開き止まりまでを 4mm 程度の縫い目で縫う。

〔仮止めなので返し縫はしない。〕



ここまで

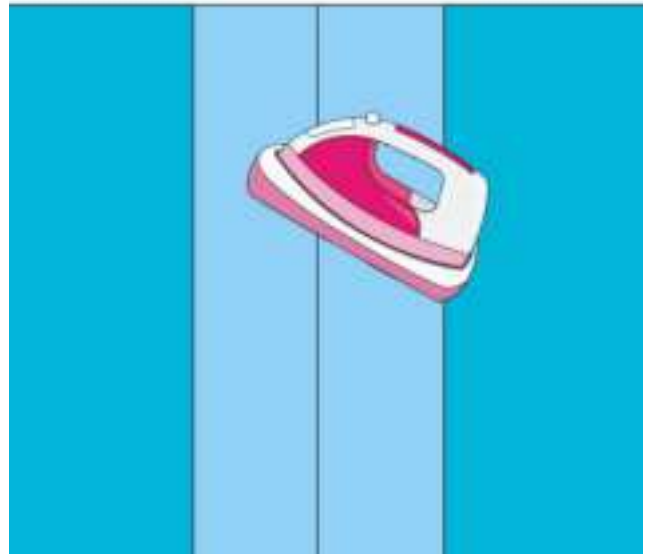
I'll sew up to here

33. 32 で縫った下から裾までを普通の縫い目で縫う。

〔ここは解れない様に返し縫いをする。〕

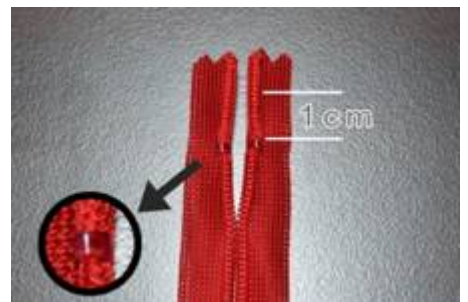


34. 縫い代を左右に開いて、アイロンをかける。

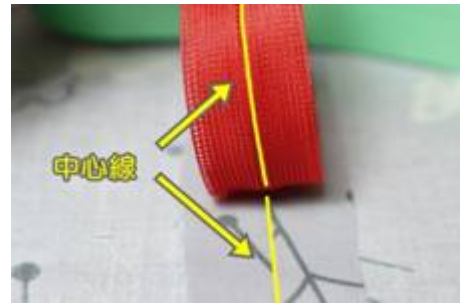


35. コンシールファスナーの上部を 1cm になる様に切る。

〔コンシールファスナーの上部に透明の“上止”があるので、その上を 1cm に切る。〕

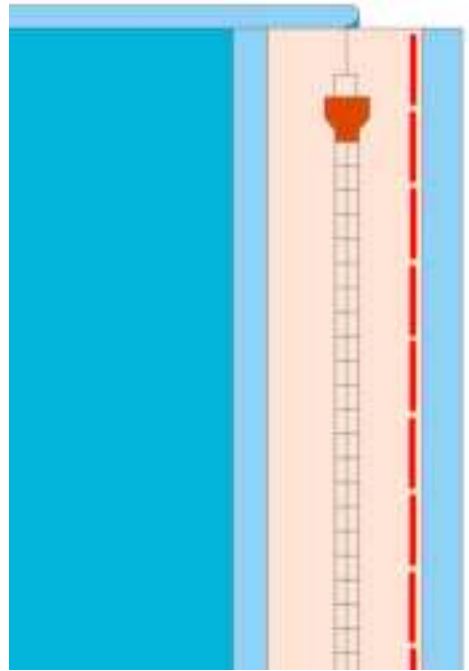


36. コンシールファスナー中心と、34 で開いた縫い目を合わせる。



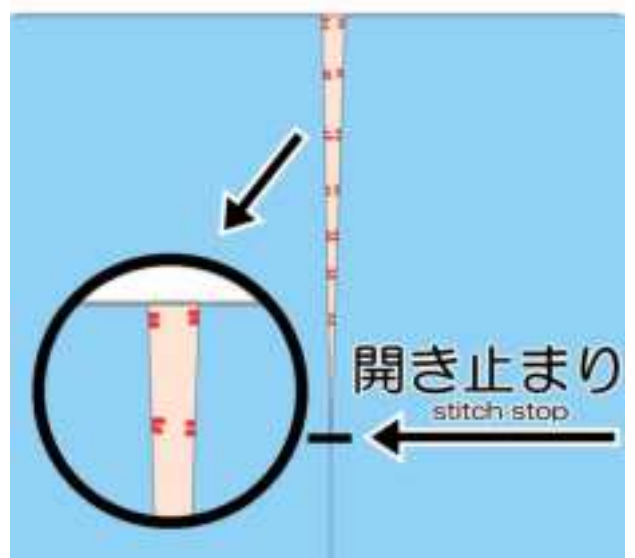
37. 仮止めをする。反対側も同じように縫う。

〔スカート本体は避けて、ファスナーと縫い代のみを縫う。〕



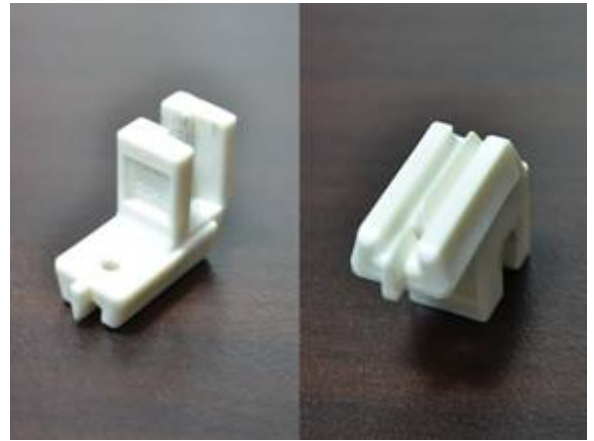
38. 身頃から開き止まりまでの糸を切る。

〔開き止まりから下の糸を切らない様に注意。  
リッパーを使うと切りやすい。〕

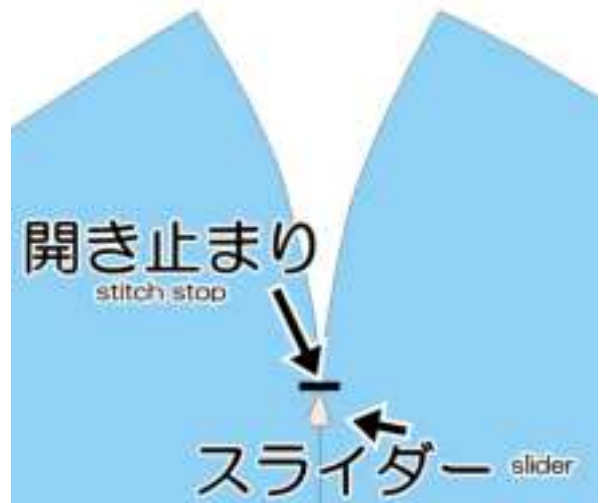


39. ミシンにコンシールファスナー押さえを取り付ける。

右図の様なアタッチメントも売られている。  
おすすめは**ミシンの純正品**、もしくはミシンの  
対応メーカー名が記載された物。  
無記名のものは場合によっては、ミシンに  
合わない事もあるので注意。



40. スライダーを開き止まりまで下げる。



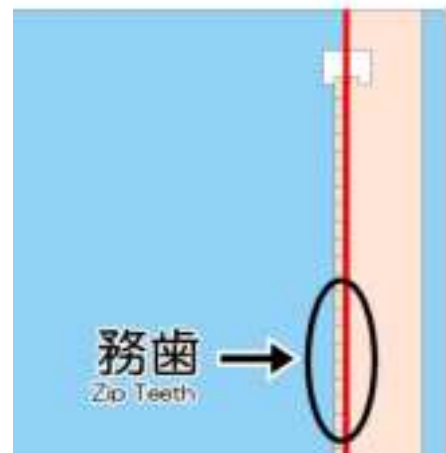
41. 務歯(むし)を押さえの溝に入れて、開き止まりまで縫う。

反対側も同じ様に縫う。

スカート表から縫う。

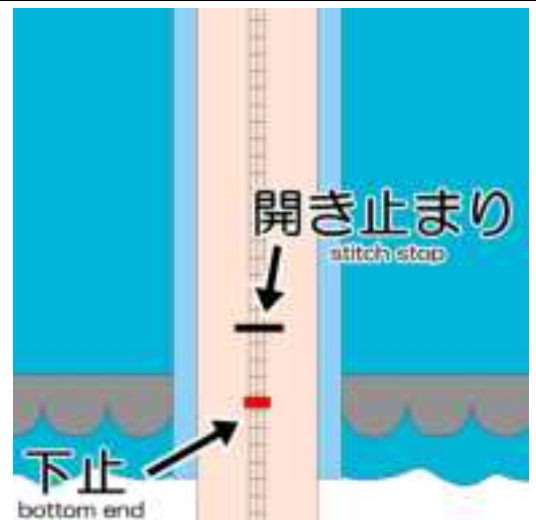
布端が右の時は左側の溝に、布端が左の時は  
右側の溝に務歯を入れる。

務歯：ファスナーを開閉する為に歯の様に  
なって連なっている部分の事。

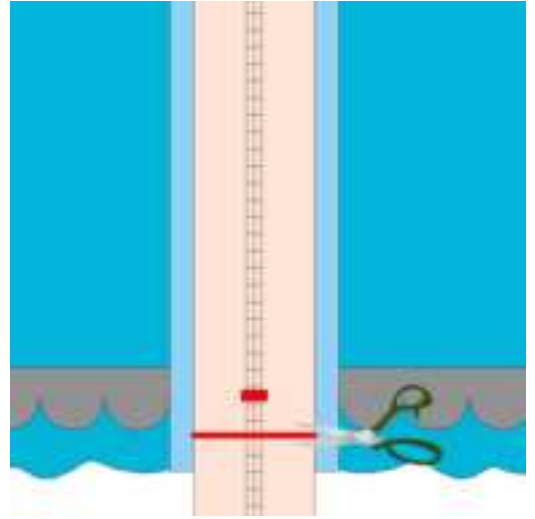


42. コンシールファスナー押さえを、普通の押さえに戻す。

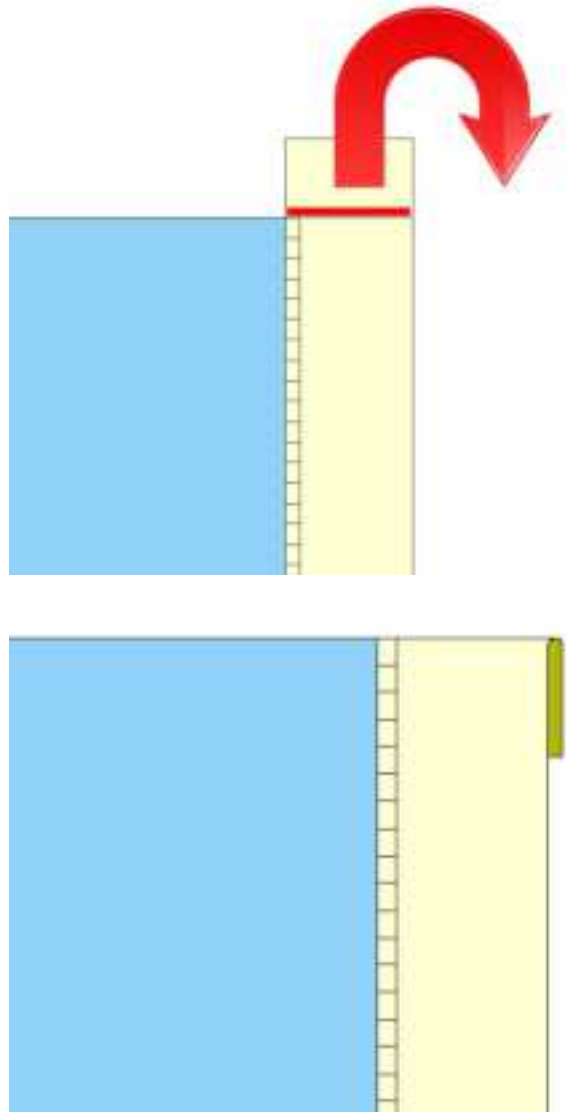
43. 下止の金具を、開き止まりの1cmくらい下に  
移動して、ペンチで潰して動かない様にする。

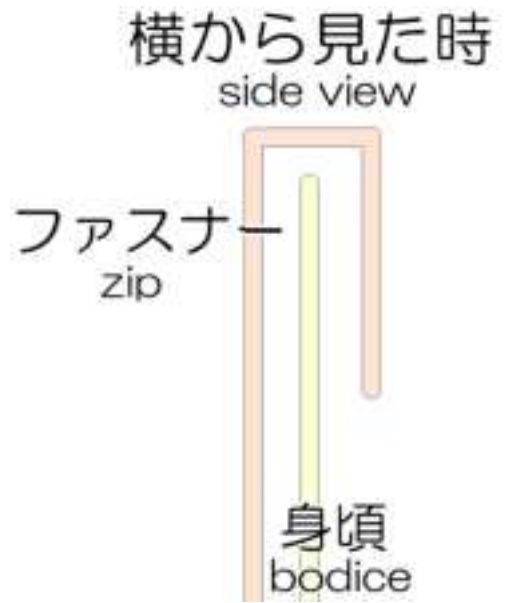


44. 下止の下、1cmくらいをハサミでカットする。

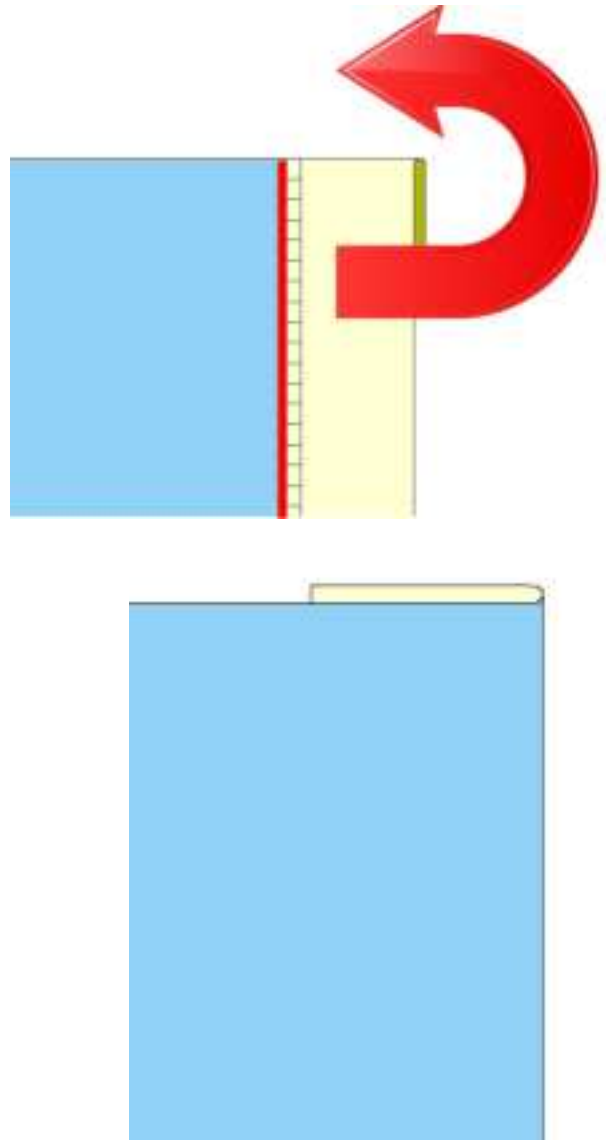


45. 身頃から出ているファスナーを裏へ折る。

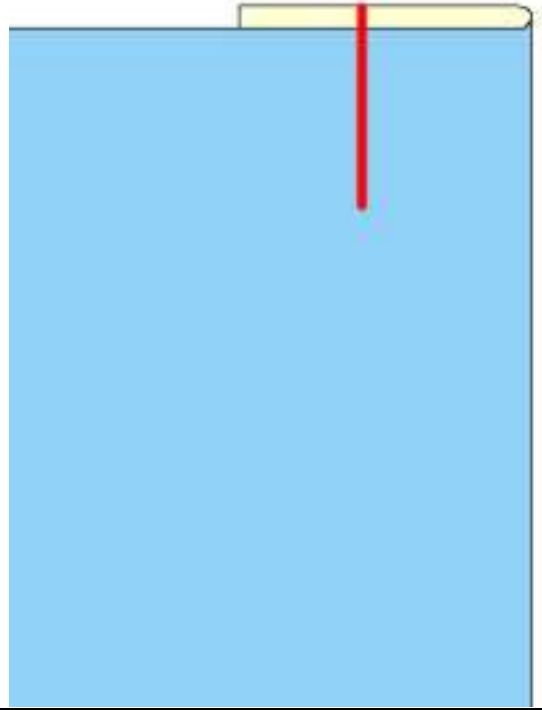




46. ファスナーと縫い代を身頃へ折る。



47. 折り返したところと身頃を 7mm 位縫って固定する。



お疲れ様でした！